

25年8月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成25年 7月20日～ 8月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は5社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		25/8月	9月	10月
入荷動向	スギ	△ 25.0	△ 25.0	25.0
	ヒノキ	0.0	50.0	50.0
	カラマツ	0.0	△ 25.0	△ 25.0
	トドマツ	0.0	0.0	50.0
消費動向	スギ	0.0	25.0	25.0
	ヒノキ	△ 50.0	100.0	50.0
	カラマツ	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0
	トドマツ	0.0	0.0	50.0
在庫動向	スギ	0.0	△ 25.0	0.0
	ヒノキ	0.0	0.0	0.0
	カラマツ	△ 40.0	△ 20.0	△ 40.0
	トドマツ	0.0	0.0	50.0

国産原木入荷は、スギは8,9月のマイナスから10月のプラスに、ヒノキ、トドマツは、8月のゼロから10月に向けプラスに、カラマツは8月のゼロから9,10月マイナスに。
消費は、スギは8月のゼロから9,10月プラスに、ヒノキは8月の大きなマイナスが9,10月は大きなプラスに、カラマツはマイナス基調で推移、トドマツは横ばいから10月はプラスに。
在庫はスギ、ヒノキとも9月に一部マイナスがあるが、総じて横ばい、カラマツはマイナス基調で推移、トドマツは8,9月のゼロから10月はプラスに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/8月	9月	10月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	50.0	50.0
カラマツ	0.0	25.0	25.0
米マツ	0.0	0.0	0.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	0.0
その他	-	-	-

原木価格は、スギ、米マツ、北洋カラマツは横ばいで推移、ヒノキ、カラマツは8月のゼロから9,10月はプラスに。

モニターからのコメント

(原木荷動き) ・安定して入荷、計画通り操業の予定、在庫も計画通り推移。 ・8月は消費減のためスギ丸太は入荷制限の見込み、8月は修理、盆休みのため工場稼働少なくなり、消費は20～25%減、7月工場火災のためスギ丸太在庫増、8月は減らす。

- ・トドマツは季節柄在庫は減少。
- ・生産量に合わせての入荷で、多少カラマツからスギの消費アップ、適正在庫を維持。

(原木価格) ・全体に横ばいもカラマツが一部地域で強含み。 ・カラマツは強含みの横バイ。
・スギ丸太安定的に入荷し価格横ばい、ヒノキは一般市場で価格上昇のため今後値上げが予想される、外材は現地価格横ばいで為替次第。

25年8月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		25/8月	9月	10月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	// (12mm)	△ 40.0	40.0	20.0
	// (15mm)	20.0	0.0	0.0
	// (24mm)	△ 20.0	40.0	20.0
	// (28mm)	△ 20.0	40.0	20.0
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	// (12mm)	△ 20.0	40.0	20.0
	// (15mm)	40.0	0.0	0.0
	// (24mm)	0.0	20.0	20.0
	// (28mm)	0.0	20.0	20.0
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	// (12mm)	△ 20.0	0.0	0.0
	// (15mm)	0.0	0.0	0.0
	// (24mm)	0.0	0.0	0.0
	// (28mm)	0.0	0.0	0.0

生産は、9mmは横ばい、15mmは8月のプラスから9、10月は横ばいに、12mm、24mm、28mmは8月のマイナスから9、10月はプラスに。
 出荷は、9mmは横ばい、12mmは8月のマイナスからプラスへ、15mmは8月のプラスから9、10月は横ばいへ、24mm、28mmは8月のゼロから9、10月はプラスに。
 在庫は、12mmの8月のマイナスを除いて、いずれも横ばいで推移。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/8月	9月	10月
構造用(9mm)	25.0	0.0	0.0
// (12mm)	20.0	0.0	20.0
// (15mm)	20.0	0.0	20.0
// (24mm)	40.0	20.0	40.0
// (28mm)	40.0	20.0	40.0

構造用合板出荷価格は、9、12、15mmは強保合ないし保合、24、28mmは強含み。

モニターからのコメント

(合板荷動き) ・8月は夏休みで生産減、出荷は12mm、24mm順調、在庫は24mmが増加。 ・在庫量極少のため発注に合わせて生産、すべての製品で買いが入っているが生産限界のため生産量＝出荷量、在庫は増える状況ではない。 ・在庫なく生産量＝出荷量で納期に追われている。 ・盆休みのため生産量、全品目多少減る、低水準の在庫でほぼ横ばい。

(合板価格) ・安定推移。 ・原材料、エネルギーコスト上昇によるコストアップも考えられる。 ・上げ幅は小さいが、少しづつ上昇気味。 ・9－15mm横ばい、24－28mm多少値上げ。 ・厚物合板は秋需に向かい価格上昇と思う。